

図書館通信

最上校図書委員会
No.2 4月18日



読書週間！ オススメの本！

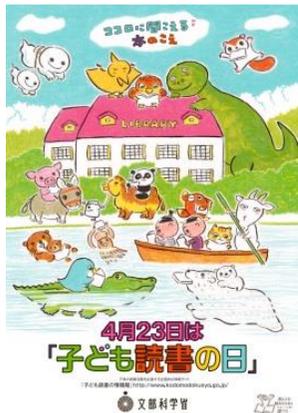


4月23日・子ども読書の日
「ココロに聞こえる本のこえ」
2023年4月23日～5月12日



第65回こどもの読書週間 「ひらいてとじた 笑顔がふえた」

広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、制定されました。子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、誕生した取り組みで、子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えましょうという取り組みでもあります。ぜひ、この機会に本を読んでみましょう。



☆学校司書 高橋からのオススメ！

子育てをするには、あまりにも時間が足りない。子どもにしっかり向き合いたくても、仕事や家事に追われ、十分な時間が取れない。そんな悩みを抱えていませんか。

誰もが直面する現代の育児事情に対し、自身も2児の母親でハーバード大学教育博士が、最先端の教育学、心理学、言語学の知見を動員して、解決策を導き出したのがこの本です。

子育てに限らず、同僚・生徒・友人 etc.に活用できる一冊です。

※ぜひ、図書館へ

★読書週間に図書委員からのオススメの本を紹介します。

☆菅花織さんのオススメ！ 『小さな星の本』

星座や宇宙、文学、アートまで多彩な星めぐり！

春の夜空にきらめく北斗七星、夏は一等星デネブがしっぽの美しいはくちょう座、秋はWの形のカシオペア座、冬の空には力強く輝くオリオン座。ページを繰れば“想像の力で宇宙に旅立てる”一冊です。



☆松田朱那さんのオススメ！ 『シャーロックホームズ 10の事件簿』

事件の真相はあなたの目のまえにある。

各章の終わりに質問を配してあるのでそれに答え事件の謎を解いてください。不滅の名探偵に挑む推理ゲームブック！

☆八鍬結花さんのオススメ！ 『パンダが日本にやってきた！』

1972年、日中国交正常化を記念して中国から日本にパンダがおくられて2022年で50年。朝日新聞に残るパンダ報道の写真や記事などで振り返るメモリアル・フォトブックです。みなさんの思い出と笑顔が詰まったニュースなパンダを1冊にしました。



☆佐藤悠梨奈さんのオススメ！ 『わたしの幸せな結婚』

名家に生まれた美世は、実母が早くに亡くなり、継母と異母妹に虐げられて育った。嫁入りを命じられたと思えば、相手は冷酷無慈悲と噂の軍人、清霞。数多くの婚約者候補たちが三日と持たずに逃げ出したという悪評の主だった。切り捨てられることを覚悟した久堂家の門をたたいた美世の前に現れたのは、色素の薄い美貌の男。初対面で辛く当たられた美世だけれど、実家に帰ることも出来ず日々料理を作るうちに、少しずつ清霞と心を通わせていく。少女が愛されて幸せになるまでの話。



読書週間！ オススメの新刊！



『好きになってしまいました。』 三浦しをん著

どこから読んでもミウラシランが溢れだす、読み始めたら止まらない抱腹絶倒のエッセイ集！ 愛と笑いと妄想に満ちた、人気作家の日常、ときどき非日常。

『書きたい生活』 僕のマリ著

理不尽なクレームと闘い、自らが信じる正しさを貫く物語は、過去に負った傷を癒やす「再生の物語」そのものだった。

『恋とそれとあと全部』 住野よる著

友達だけど、違う生き物、片思い男子とちょっと気にしすぎ女子。二人は友達だけど、違う生き物。一緒に過ごす、夏の特別な四日間。

『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾著

不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる。少年の冒険×警察ミステリ×空想科学

『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈著

中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない！

『黄色い家』 川上未映子著

十七歳の夏、「黄色い家」に集った少女たちの危険な共同生活は、ある女性の死をきっかけに瓦解する。人はなぜ罪を犯すのか。

『不死身のつもりの流れ星』 最果タビ著

「われわれはこの距離を守るべく生まれた、夜のために在る6等星なのです。」体験する詩の展覧会という新しい表現で日本中を席卷した詩たちが1冊に集結！

『時かけラジオ』 成田名璃子著

未来の人、お電話ください。時を超え、人をつなぐ奇跡のラジオ。真夜中のラジオが昭和と令和をつなぐ時、悩める4人のリスナーと、そしてきっとあなたに、優しい波音が聞こえてくる。



『真珠とダイヤモンド 上・下』 桐野夏生著

「バブル」実体なき熱狂の裏側をえぐる傑作長編！

『覇王の轍』 相場英雄著

警察キャリアの樫山順子は、北海道警捜査二課長に突如、着任する。ススキノで起きた国交省技官の転落事故と道内の病院を舞台とした贈収賄事件を並行して捜査するなか、両事件の背景に、この国の鉄道行政の間が広がっていることも知る。

『新・教場』 長岡弘樹著

最恐教官・風間公親の初陣！新章始動！

『がらんどろ』 大谷朝子著

どんな型にもうまはまれない、でも、特別じゃない。今を生きるすべての人へ、さまざまな属性を越えて響く“わたしたち”の物語。

『あなたはここにいないとも』 町田そのこ著

今は人生の迷子になってしまったけれど、あなたの道標、ここに。もつれた心を解きほぐす、ぬくもりに満ちた全五篇。

『あわのまにまに』 吉川トリコ著

どれだけの秘密が、この家族には眠っているんだろう。2029年から1979年まで10年刻みでさかのぼりながら明かされる、ある家族たちをとりまく真実

『やさしさを忘れないうちに』 川口俊和著

いつかなんて待たずに、すぐ会いに行けばよかった。

結婚を許してやれなかった父、バレンタインチョコを渡せなかった女、離婚した両親に笑顔を見せたい少年、名前のない子供を抱いた妻、止まってしまった「今」を未来へと動かすために過去に戻る、4人の男女の物語。

『藍色ちくちく 魔女の菱刺し工房』 高森美由紀著

苦しい時、嬉しい時、そして誰かを想う時。布の目を数え、模様を作る。青森の南部菱刺しをテーマに描く、手芸×再生の四篇。

※ぜひ図書館へ

